

薬剤師と医師が協働で策定した各種プロトコルの評価に関する研究

## 1. 研究の対象

5 山病棟、ICU、HCU、救命救急 ICU の救命診療科に入院され、2021. 10～2022. 1、2022. 3～2022. 6 の期間で薬剤師による処方介入（疑義照会）が行われた患者様

## 2. 研究目的・方法

救命救急センターでは、適切な薬物治療の実践を目的として病棟担当薬剤師が主体となって、抗微生物薬の用法用量のプロトコル、薬剤投与時の腎機能の評価方法に関するプロトコル、バンコマイシン(VCM)の投与に関するプロトコルの 3 つのプロトコルを策定し、運用しています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

薬剤師がプロトコルに関連した処方介入を行った内容など。

## 4. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

## 5. 研究組織

りんくう総合医療センター

薬剤部門 小林 洋平

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2 番地の 23 りんくう総合医療センター

TEL:072-469-3111

研究責任者 薬剤部門 小林 洋平

研究代表者：りんくう総合医療センター 薬剤部門 小林 洋平